

工作機械業界で活躍する開発力の高い部品メーカー 株式会社グローバル・パーツ

工作機械・産業機械部品の生産・販売を行う株式会社グローバル・パーツ。主な取引先は航空機・自動車・スマートフォンなどの金属部品を削る加工に必要なマシンツールを扱う工作機械業界。この業界では日本企業が世界のトップレベル。高い技術が求められる世界で真摯に取り組み、開発・設計を行う工場をもたないメーカーとして成長した。また、関連商品も扱うトレーディングカンパニーの役割も果たしている。

精密ロックナットは高度な測定機器で品質を保証

同社の主力製品は「精密ロックナット」金属加工を行うマシンツールの主軸（スピンドル）やボールネジの振れ及びたわみを矯正するために使われる部品だ。主軸のよし悪しが商品の品質精度を左右するので「精密ロックナット」の精度は重要だ。

工作機械業界は技術の進歩がめざましい。航空機などに使われる材料は常に軽量化や耐久性が求められ、マグネシウムや特殊アルミニウムなどの新素材が開発されている。それらは難削材といわれ加工機械も進化が求められる。同社では難削材を加工するために必要な高速回転領域の主軸用の「超精密ロックナット GLO-SBL シリーズ」などを開発した。

標準商品以外に図面をもとに特注品の製作も行っている。いずれも1～2ミクロン単位の精度で仕上げる。

「精密ロックナット」の特徴である内径ネジの加工は難しい上に精度を測ることも難しい。そのため自社で測定できる企業が少ない。その中で同社は各測定機器をそろえて精度測定レポートの作成ができる数少ないメーカーだ。

また、工作機械・産業機械の加工時に必要なクーラントホース（オイル・水・エア）などの供給に使用するホース・高圧専用ノズル・LED ライトなども取り扱う。



軸力センサー YSAFS

充実した設備の台湾工場で製造を行う

同社は精密機械部品の商品開発を行い、製造は台湾の委託生産が行っている。台湾工場はマシニングセンター・NC旋盤・タッピングマシン・外径研磨機・内径研磨機・特殊研磨機・複合加工機等を完備。「精密ロックナット」は月産30万個（最大月産50万個）生産している。

これらの生産設備を駆使してバランス調整用の穴、フックスパナ用の溝等の加工を行った特殊品でも30日以内に生産が可能だ。

さらに「精密ロックナット」の品質を検査する三次元測定機・表面粗さ測定機・3D 座標測定機・真円度測定機・投影機（ネジ内径・角度・ピッチ）・ゆるみトルク試験機・軸力測定試験機などを導入している。ISO規格に基づいた検査を行うなど品質管理は徹底されている。

高い商品開発力で顧客ニーズを反映した製品作り

受注するまでにはさまざまなテストの依頼が入る。回転数・加速度・使用時間・従来から使っているサイズなど条件が指定される。同社では大阪の市立工業研究所や京都の大学と連携し、テストの依頼内容に応じてどのテストマシンを使用するか、どのようなテスト方法を行うかを決めている。そして、テストを実施してレポートを提出し、従来品と比べて数値的に有利であることが証明されると採用へのステップへ進むことができる。

同社には「生産性をもっと上げる機械を作りたい」「もっと高速回転させたい」など顧客からの相談が入ることもある。「お客様のニーズを扱うにはお客様の身近にいななければいけない。そして、いかにお客様が使いやすいモノが作れるかが大切。本当に役立っているかを確認し、長くよりよい商品提供を行える創造的な企業にならなければならない。」と会長の増田進彦氏は語る。



検査室



製造設備 2

新商品「軸力測定センサー」を発売、新たなマーケットを開拓

2014年に新商品となる「軸力測定センサー」を開発・発売。精度の高さを求めるお客様の声から生まれた。「精密ロックナット」を締め付けること

によって得られる軸力を直接測定できる。予圧管理・予圧分析に最適なセンサーだ。機械を組み立てる前に欲しい軸力を正確に測ることができる。必要な数値も得られるので好評を得ている。

増田氏は「開発は絶対に必要。顧客ニーズを反映した新商品を開発することが新しいマーケット開拓につながる。リーマンショックの時は工作機械業界の生産台数が一時的に1/3まで落ち込んだ。海外の経済状況・競争・自然災害などでマーケットはどのように動くかわからない。リスクを分散させるためにもいろいろなマーケットに携わる商品を提供していきたい。」と今後の展開を見据える。

また、日本や海外の展示会へ積極的に参加。自社ブランドや商品の認知にも力を入れる。日本では大阪・東京・名古屋を中心に年3回。海外ではドイツ・イタリア・台湾などで年1～2回参加。大規模の展示会には6日間で約20～25万人の専門家が訪れる。「取引先となる各企業のキーマンが向こうから来てくれる絶好のチャンス。我々の製品に興味を示してもらえるか、商談に結び付けられるかは自分たちの努力次第。関係作りの一歩として今後も続けていきたい。」

最近では工作機械メーカーもデザインを重視するようになってきている。機能は同じでも外観デザインがシャープでモダンになるなど個性を打ち出している。2015年の展示会では同社もイメージ重視のブースを作る予定だ。

モノづくりに真剣に自分が惚れ込む製品を手がける

会長の増田氏はモノ作りひと筋。精密機械部品に特化して同社を2007年に設立した。現在に至るまで「いい人たちに巡り会えたと思う。」と振り返る。

増田氏の指す「いい人」とは「モノづくりに真剣な人」。そして「仕入れ先・自分・販売先の皆がよくなるという考え方をしている人」だ。

「台湾の工場や提携先も同じ考えをもっている人で20年来の付き合いになる。製品開発の協力者であり、製品をより安くいい物を製造してくれる。お互いにアップダウンはあるが助けてもらったことも多い。パートナーとして信頼している。」

ほかに大切にしていることは「自分が惚れ込む製品を作ること」だ。「まずは自分が好きにならないとその製品を薦められない。惚れ込むにはその製品を深く知ること。お客様からの色々な質問に答えられなければテストをしてデータをもって話しに行く。努力やテストの積み重ねで自分の自信を付けていくことが大事。人との巡り会いは運にも左右される所は大きいと思う。お客様が不良品で困っている時にタイミングよく提案できることもあれば、売り込みにいっても「今までの取引先との関係を崩せないから」と断られることもある。普段からモノ作りを真剣にやっていると幸運や縁は掴めないと思う。そして、売上を伸ばして人が働く場を作るのも企業の使命。雇用を創出して地域社会にも貢献していきたい。」と語ってくれた。

同社はこれからも商品開発に真摯に取り組み、係わるすべての人の発展と成長を目指していく。

株式会社グローバル・パーツ

会長 増田 進彦

〒577-0062
大阪府東大阪市森河内東2丁目6-16
TEL : 06(6618)0802
FAX : 06(6618)1222

【事業概要】

工作機械・産業機械部品の開発・設計・製造
(精密ロックナット・高圧ノズル・クーラントホース・LEDライト等)



超越したバランス精度
外観の平面化により
静音化を可能にした
高速回転領域のスピンドル用
超精密ロックナット
GLO-SBL series

材質 : SCM418 加工精度 : ISO/H1 硬度 : HRC59±2
外径 : 0.062mm 同心度 : 0.005mm 直度 : 0.002mm

GLO
GLOBAL PARTS CORP.